

飲酒運転根絶に向けたトラック運送業界の 取り組みの強化について

決 議

国土交通省では、「2020東京オリンピック・パラリンピック」に向け、世界一安全な輸送サービスの提供を実現するため、2020年までに達成すべく目標値を定め、ソフト・ハード両面から国土交通省等及び関係業界が総力を挙げ、事業用自動車に係る事故の削減に取り組んでいるところである。

トラック運送業界では、第109回交通対策委員会（平成29年9月開催）において、「トラック事業における総合安全プラン2020」を策定し、飲酒運転をゼロとする目標を掲げ取り組んでいるところ、事業用貨物自動車については、交通事故発生件数及び負傷者数はそれぞれ減少傾向にあるものの、近年、事業用トラック運転者による飲酒運転事故件数は増加傾向にあり、本年5月には、今年に入ってから事業用トラックの飲酒運転事故が連続したことに伴い、飲酒運転の防止等関係法令遵守の徹底について国土交通省から通達が発せられたほか、8月には、ひき逃げ死亡事故で逮捕された事業用トラック運転者の呼気からアルコールが検知された旨の報道がされるなど、目標の達成はおろか、このままではトラック運送業界の社会的信頼性が失われるなどの懸念があり、誠に遺憾である。

このような状況に鑑み、飲酒運転という反社会的行為の根絶を図るため、第113回交通対策委員会では、業界全体として下記事項を共有するとともに、関係者一丸となって取り組みを強化することにより、この業界から飲酒運転を根絶することを決議する。

1. 各事業所においては、乗務前後の対面点呼時はもとより、対面でなく電話その他の方法で行う点呼の場合においても、アルコール検知器を用いた酒気帯びの有無の確認が確実に見える点呼実施体制が確立できているか再確認し、必要に応じた見直しを行う。
2. 各事業所においては、全ト協が作成した「飲酒運転防止対策マニュアル」（改訂版）を活用し、アルコール検知器の携行、酒気帯びの有無の測定方法及び測定結果の確実な報告等について、運転者等への指導を徹底する。
3. 各事業所においては、交通安全運動等の機会をとらえ、事業用トラックが関係した飲酒運転事故事例を周知するなどして、運転者に対する飲酒運転根絶意識の徹底を図る。
4. 各都道府県トラック協会においては、飲酒運転根絶に向けた他県の取り組み事例について情報の共有化を図り、各地域の実情に応じ、飲酒運転根絶にむけた効果的な取り組みを積極的に展開する。

令和元年9月12日
公益社団法人 全日本トラック協会
副会長(交通対策委員長)工藤修二

事業用トラックの飲酒事故事例（平成31年1月～8月16日）

出典：メールマガジン「事業用自動車安全通信」（国土交通省）等

	事故等の種類	車籍地	発生日	当時の状況
1	酒気帯び衝突	岡山県	H31.1.24	1月24日（木）午前5時00分頃、岡山県の国道において、同県に営業所を置くトラクタ・セミトレーラが運行中、道路左側の電柱に衝突後、道路脇店舗の側壁に衝突した。 この事故により、当該トラクタ・セミトレーラ運転者が軽傷を負った。 事故後の警察の調べにより、当該トラクタ・セミトレーラ運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道交法違反（酒気帯び運転）の疑いで現行犯逮捕された模様。
2	酒気帯び路外逸脱	北海道	H31.2.1	2月1日（金）午後7時45分頃、北海道の国道において、道内に営業所を置くトラックが運行中、運転者がハンドル操作を誤り路外逸脱した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで現行犯逮捕された模様。
3	酒気帯び衝突	大阪府	H31.2.3	2月3日（日）午後8時22分頃、広島県のコンビニエンスストア駐車場において、大阪府に営業所を置く大型トラックが運行中、別のトラックと接触した。 この事故による負傷者はなし。 当該大型トラック運転者は、相手トラック運転者との話し合い後に、その場を離れ、通報で駆けつけた警察により、国道を走行中に停止を求められた。 その際の警察による調べにより、当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで現行犯逮捕された模様。
4	酒気帯び衝突	宮城県	H31.2.4	2月4日（月）午前5時50分頃、神奈川県の子道において、宮城県に営業所を置くトラックが運行中、電柱を支えるロープに衝突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで現行犯逮捕された模様。
5	酒気帯び衝突	千葉県	H31.4.8	4月8日（月）午前11時頃、千葉県において、同県に営業所を置くトラックが運行中、前方を走行する乗用車に追突した。 この事故により、乗用車の運転者が軽傷を負った。 事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで現行犯逮捕された模様。 なお、運行前点呼では、アルコールチェッカーで酒気がないことを確認しているとのこと。
6	酒気帯び死傷	福岡県	H31.4.11	4月11日（木）午前11時25分頃、山口県の国道において、福岡県に営業所を置く大型トラックが運行中、歩道に乗り上げバーストし、歩行者と接触した。 この事故により、歩行者が重傷を負った。 事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで現行犯逮捕された模様。
7	酒気帯び衝突	大阪府	H31.4.24	4月24日（水）午後3時頃、静岡県の国道において、大阪府に営業所を置くトラックが運行中、信号待ちで停車していた車両に追突した。 この事故により、追突された車両の運転者が軽傷を負った模様。 事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者は、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで現行犯逮捕された。
8	酒気帯び衝突	京都府	R1.5.10	5月10日（金）午前10時37分頃、大阪府の府道において、京都府に営業所を置くトラックが運行中、対向車線にはみ出し、走行してきた乗用車と衝突し、さらにその乗用車は後続の軽乗用車と衝突した。 この事故により、乗用車の運転者が軽傷を負った。 事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者は、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。

	事故等の種類	車籍地	発生日	当時の状況
9	酒気帯び衝突	福岡県	R1.5.16	5月16日(木)午後6時30分頃、静岡県の県道において、福岡県に営業所を置くトラックが運行中、車線変更した際に、後方から走行してきた乗用車と衝突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。
10	酒気帯び死傷	東京都	R1.5.20	5月20日(月)午後1時頃、東京都の国道において、都内に営業所を置くトラックが運行中、左折した際に横断歩道を横断していた自転車と衝突した。 この事故により、自転車乗りが軽傷を負った。 事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。
11	酒気帯び衝突	奈良県	R1.5.31	5月31日(金)午前8時50分頃、大阪府において、奈良県に営業所を置くトラックが運行中、タンクローリーに衝突した。この事故による負傷者はなし。 事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。
12	酒気帯び死傷	茨城県	R1.6.26	6月26日(水)午前2時5分頃、埼玉県の国道交差点において、茨城県に営業所を置く大型トラックが運行中、右折する際に、横断歩道を横断していた歩行者をはねた。 この事故により、はねられた歩行者が死亡した。 事故後の警察による調べにより、当該大型トラック運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。
13	酒気帯び物損	鹿児島県	R1.7.5	7月5日(金)午前10時45分頃、兵庫県の高速道路において、鹿児島県に営業所を置く大型トラックが運行中、他の車両と衝突した。この事故による負傷者はなし。 事故後の警察による調べにより、当該大型トラック運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。
14	酒気帯び物損	広島県	R1.7.11	7月11日(木)午前5時40分頃、広島県の市道において、同県に営業所を置く大型トラックが運行中、左カーブの下り坂でスリップし電柱等に衝突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察による調べにより、当該大型トラック運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。
15	酒気帯び衝突	秋田県	R1.7.16	7月16日(火)午後6時30分頃、栃木県の国道において、秋田県に営業所を置く大型トラックが運行中、対向車線にはみ出し、対向してきたトラックと衝突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察による調べにより、当該大型トラック運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。
16	酒気帯び衝突	愛知県	R1.7.17	7月17日(水)午後9時47分頃、静岡県の国道において、愛知県に営業所を置くトラックが運行中、ガソリンスタンドに入るため車線変更したところ、左側の脇道から出てきた乗用車と衝突した。 この事故により、トラックの運転者及び乗用車の運転者の計2名が軽傷を負った。 事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。
17	酒気帯び物損	香川県	R1.7.20	7月20日(土)午後11時30分頃、高知県の高速道路において、香川県に営業所を置くトラックが運行中、トンネル入口の左側壁面に接触したが、接触に気付かずそのまま走行した。 この様子を見ていた後続車が警察に通報し、警察による調べにより、当該トラック運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。
18	酒気帯び物損	長野県	R1.8.5	8月5日(月)午前3時19分頃、山梨県の国道において、長野県に営業所を置く大型トラックが運行中、道路左側のガードレール等に衝突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察による調べにより、当該大型トラック運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。

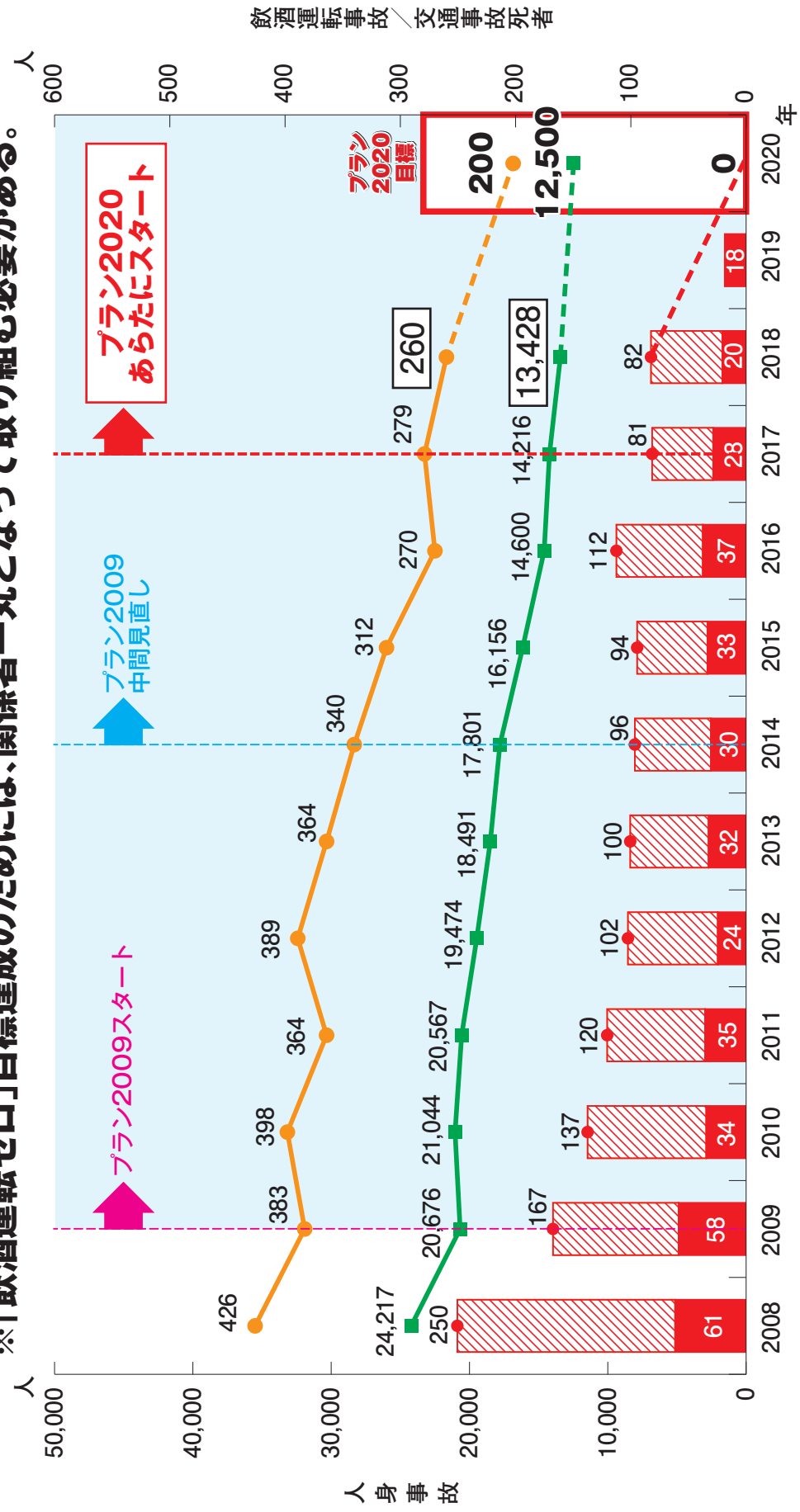
「トラック事業における総合安全プラン2020」目標値と事故の現況

飲酒運転件数 飲酒運転ゼロ

交通事故死者数 200人以下

人身事故件数 12,500件以下

※「飲酒運転ゼロ」目標達成のためには、関係者一丸となって取り組みが必要がある。



● 人身事故件数 (件) ■ 飲酒運転※うち事故件数 (件)
 ● 死者数 (人) ■ 飲酒運転 (件) ● 飲酒運転※うち事故件数 (件)
 ※「飲酒運転」には「酒酔い運転」および「酒気帯び運転」が含まれる。

数字はいずれも事業用貨物自動車（軽自動車を除く）によるもの。
 出典：警察庁「交通事故統計」および（公財）交通事故総合分析センター「交通統計」
 ただし、2019年はメールマガジン「事業用自動車安全通信」（国土交通省）等による情報（8月16日現在）